GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人
群馬県作業療法士会ニュース
「からっ風通信」　第132号　2018年4月発行

巻　頭　言

「広報部が大切にしているコト。」

広報部担当理事
(株)エムダブルエス日高倉賀野事業所
都丸直樹

この春、新社会人となった皆様おめでとうございます！また、新たなステージでのスタートを切った皆様もどうぞよろしくお願いします！

現在、広報部は「公益事業」「ニュース編集」「広報企画」の各グループで30人以上のスタッフが元気に活動しています。ここ数年で「OTはもっと地域に出かけよう」「多職種連携」などなどよく耳にしますね。これは私たち作業療法士に限ったことではなく、どの専門職も、行政の皆さんも積極的に取り組んでいるテーマです。作業療法をもっと広く知って頂きたい。それは私たち広報部でも大切なテーマのひとつですが、一方的に「OTを知ってください」だけではなく、お互いに興味をもって理解し合うことができるといいなと思って日々活動しています。

そのために、地域住民の皆様や、多職種、多業種の皆さんと一緒に活動させていただき、それを通して作業療法を身近に感じて頂く努力をしています。具体的な活動として、高校生1日OT体験や、子供さんへ向けたイベント、チャリティー活動、地域イベントへの参加など。また、この群馬県作業療法士会ニュースも大事な広報活動のひとつです。

病気やケガ、体調が心配になってから出会う作業療法ではなく、いろんな職種や役割の皆さんがいるから、暮らしたいところで安心して暮らせる。そう思っていただける一員の作業療法士でいられるように。

リニューアルでさらに利用しやすくなった群馬県作業療法士会のホームページもぜひご活用ください！

最新情報や、研修会情報も満載です！

詳しくは　群馬県作業療法士会　で検索!!

一般社団法人群馬県作業療法士会　第4回理事会議事録

会　場：群馬大学医学部附属病院
日　時：平成30年2月7日(水)19:00～21:45
出席者：理事／新井、関根、山口、市川、高坂、品田、柴田、高橋、都丸、李、長谷川
監事／唐澤、小林

Ⅰ.会長から

1)日本作業療法士協会　第3回47委員会
開催日:平成30年1月27日、28日
会　場:市ヶ谷カンファレンスセンターTKP
内　容:【1日目】
①第二次5か年戦略統括について
②平成30年度重点活動項目
臨床実習指導者研修会
開催主体をどうするかが今後の検討課題
協会、士会、大学が合同での開催か。
非会員をどうするかが課題
【2日目】
③事業報告
2)障害者用テレビリモコン　普及に向けて
3)教育G　OT協会からの承諾書の件
全会一致で承認
OTマニュアルについては、中央法規とのやり取り

Ⅱ.各部からの報告事項

1.事務局から[長谷川事務局長]

1)シニア会員・学生会員・定款に関する規定について
2月末までに各理事から校閲コメントの確認後、作成する
2)PT・OT養成校の臨床実習に対する取組に関するアンケート調査」(依頼)に関して
アンケート内容を確認後、新井会長から返答することとなった。
3)ブロック支部組織強化に関して
【検討事項】
今後の方針についてのブロック担当理事にて話し合いの場を設けることの是非
⇒全会一致でブロック担当理事間で話し合いの場を設けることで承認
4)県士会ホームページに関して
【報告事項】
①研修会案内は、関連団体からの依頼について掲載作業を随時実施
②案内掲載はすでに、担当スタッフを置いて作業を実施している
③問い合わせフォームの不具合等があり、対処済み。
(長谷川事務局長)
【審議事項】
来年度以降の学会HPの運営の所轄部署について
⇒来年度以降、学会のホームページ管理運営は、学術部が所轄することで承認
【HP関連　連絡事項】
各部の紹介、活動内容について記事を投稿いただく
形式はデータで事務局あてに送付
5)再来年度、群馬県作業療法学会の学会長選出について
担当ブロック:西毛ブロック
＊ブロック担当理事及び、学術部にてご対応いただくこととなった。
来年度総会前までに、理事会にて学会長の選出について確認し、総会で議決を取る必要がある。
次回の理事会までにご選出いただくこととなった。

2.教育部から[柴田理事]

【報告事項】
現在新人症例発表会の準備を進めている
1月12日　準備会議開催(博仁会第一病院19:00～)
会議内容:新人症例発表の進捗報告
座長とセッション等の編成
優秀演題の選出方法の共有
教育部 研修管理システム変更に関しての情報共有
参加者58名と大幅に増加、会場を増やして対応予定。
養成校連絡協議会との会場共有日程調整検討
【確認事項】
自殺対策事業に関しては教育部は今年度まで
来年度以降は、精神科作業療法推進グループ高坂理事へ対応いただく

3.地域作業療法推進部(発達支援グループ)[勝野理事]

【報告事項】
1)地域包括ケア推進グループ
来年度事業計画を作成した。
市町村、全会員向けアンケート作成した。2月に発送予定。
2)認知症支援推進グループ
11/18、19　認知症作業療法推進委員会へ参加した。認知症作業療法推進委員の廣崎、加藤が出席した。
1/21　認知症ケア資質向上のための研修(アドバンス)を開催。OT・他職種181 名の参加があった。
1/15 現在、OT・他 職種160名程度の参加を見込んでいる。
来年度の事業計画を作成した。
3)発達支援推進グループ
11/12、学童保育へのOT 参画について岡山の糸山氏、新町デイの丸茂氏と面談(勝野・北爪対応)。
12/9、新町デイ丸茂氏主催研修会に参加した(高坂・勝野出席)
11/9、1/11 に勉強会を開催した。
次年度の事業計画を作成した。
4)精神科領域推進グループ
次年度G 長の人員配置に関する検討を行った。
次年度の事業計画を作成した。
【確認事項】
1)発達支援グループ
学童保育のOT派遣について
実際に人材不足で講師派遣は難しい状況。
学童保育の実態について情報収集を行う方針
上記対応を丸茂氏へ返答
2)精神科作業療法推進グループ
グループ員募集する。
申し込み期限　平成30年3月17日(予定)
3)地域支援事業等に関するアンケート調査の実施
全会員向けアンケート作成。　2月に発送予定

4.介護予防自主グループ支援事業 報告(山口副会長)

平成29年度　太田市内の自主グループ10か所に、OTを講師派遣要請あり

山口副会長を中心に7人の講師により実施

各グループからの反応は好評

今後、地域での要望に対し、ブロック単位で行えるような体制づくりが必要

5.広報部[都丸理事]

【報告事項】

1)公益事業グループ

H30.1.7(日)にイオン高崎にて作業療法フェスタ2018を開催。

ブース内容としてブレスレット作り、割り箸鉄砲作り、体力測定、自助具コーナーを実施。リーフレット、ボールペン、クリアファイル、ティッシュ、ウェットティッシュなど

2月中旬に部会を開催し、来年度に向けて作業療法フェスタの振り返りを実施予定。

2) ニュース編集グループ

①ニュースの発刊について

1月号は予定通り1月25日の発行予定。年度の3月は発行せず、4月発行とする。

来年度より4・7・10・1月号の発行を予定。

②ニュース記事依頼について

4月号では、今年度の各部での活動報告、来年度の部員募集などを各部へ執筆を依頼したい。普段詳しくは知り得ない県士会各部の活動内容や様子を伝えて頂き、より県士会への興味関心を図り、新入部員の入部へも繋げたいねらいがある。

各担当理事の方へのご協力を依頼する

新コーナーの提案や諸々の活動報告、掲載してほしい記事などは随時募集している。

3)広報企画グループ

①2017年度に行われたOTフェスタでのアンケートを集計し、2月に実施予定の3グループ合同会議にて提示する予定。

②広報企画G再編に伴い、役割分担等運営方法について継続して確認を実施していく。

【審議事項】なし

6.群馬県多職種連携推進会議(オール群馬)設立準備会について[都丸理事]

【報告事項】

1)経緯

・群馬県医師会より依頼があり、群馬県多職種連携推進会議(オール群馬)設立準備会へ作　業療法士会としての参加依頼あり。

・H29年12月26日 19:00～群馬県医師会

・今後毎月準備会を開催し、来年度に会としてスタートできるよう、基盤づくりを行う。(県民への周知、ACPへ多職種で具体的にどうかかわるか等)

【審議事項】

①作業療法士会としては参加するべきと思われるが、今後の活動も含め理事会での承認を頂きたい。

⇒活動に関して承認

②当会としての役員は、ブロック支部強化とも関連するため、当面都丸が参加させていただいてもよろしいか。

⇒都丸理事の継続について承認

③次回の準備会(2/26)で各団体より提出を求められている書類について提出可能か

⇒群馬県作業療法士会で扱っているリーフレット等の提出について承認

データは都丸理事へ送付すること

7.福利厚生部[市川理事]

【審議事項】

1)群馬県作業療法学会　優秀演題審査結果の通知に関して

審査結果を本人に伝えることの可否について

⇒通知することで全会一致承認

通知文書については、メール審議とし、市川理事が取りまとめを行うこととなった。

2)学会・研修会時の託児環境の整備について

新井会長より、研修会、学会等での開催時に託児環境の整備について確認あり。

今後、具体的な予算、手続き等について市川理事が取りまとめを行うこととなった。

【報告・確認事項】

1)リレーフォーライフの参加に関して・反省点などのまとめ

県士会参加者の増員が望まれる。

県士会ニュース等を通じての広報活動にも力を入れておく

ブースでのアクティビティの導入等については今後検討

2)福利厚生部の今後の活動に関して

親睦を深めながら、福利厚生について話し合う場を設ける

今後研修会や講習会の際に集まれる場を設けていくことを検討。

また、育児に携わっているOTのための集まれる場についても検討する

3)福利厚生部研修、養成校オリエンテーションについて

学生向けの対応

学校側に合わせてオリエンテーションを行えるか検討していく

4)優秀学生賞について

設楽部長から李理事へ連絡することとなる

1月に文書発送、2月には準備が整う予定と

8.財務部[高橋理事]

【報告・連絡事項】

1)平成29年度決算について

H29年度前期決算11/26、12/5、12/11実施。決算資料送付済み。

11/29学会会計・学会支援グループ長との打ち合わせ実施。

H29年度決算について

2月末に決算資料を各理事に送付予定。

＊H29年度の活動が終了次第、資料を作成し随時事務局へ提出すること

2)H30年度予算について

各部の勘定科目を統一する。基本的な科目としては以下の通り

通信費、印刷費、消耗品費、備品費、会議費、会場借上費の6項目

研修会等の事業がある部については事業・運営費、講師謝礼金、旅費・交通費の項目を追加する。

【審議事項】

・旧財務資料の処分について以下に沿って処分してよいか?

財務資料の保管について会計士へ確認したところ以下の通り。

税務申告している場合は9年間

税務申告していない場合は5年間

⇒廃棄可能な書類はシュレッダーにて廃棄することで承認

9.学術部[李理事]

【報告事項】

1)学術支援グループ

①平成29 年度 学術支援グループ勉強会を開催した
(5回11/27、6回1/9)　参加者は7名

②第20回群馬県作業療法学会　ポスター作成支援を5名の会員に行った。

③県内施設の学術活動に関する現状調査

2)学会支援グループ

①第20回群馬県作業療法学会に関する支援活動、データの管理を実施した。

②県学会の財務管理の決算報告に関して県学会財務担当と協力し資料の修正、事務局・財務部へ連絡を実施した。

3)機関誌編集グループ

①平成29年度機関誌編集会議を開催した(第7回　11/15、第8 回 H30/1/17)

②機関誌「ぐんま作業療法研究vol.20,2017」の発刊準備を実施。
投稿論文:10題掲載予定　投稿された論文を査読作業中。半数は査読終了。
特集:テーマ「群馬県作業療法士会30周年を迎えて」
インタビュー内容の文字起こしは終了。
内容の要約、編集作業はグループ内で実施する。

【審議事項】

前回継続審議となった県学会運営における学会支援グループの役割について

1)学会支援グループが主対応する項目

①会計
②公文書
③HP管理
④学会誌(機関紙編集グループ)
⑤演題発表(学術研究グループ)

2)学会運営・実行委員会が主対応する項目

①特別講演
②業者展示
③当日運営・アンケート
④学会長・実行委員長

上記の取りまとめについて、承認

10.養成校連絡協議会[李理事]

【報告事項】

12月6日に第一回養成校連絡協議会開催

1)内容

①自己紹介:参加者の自己紹介、会長の連絡協議会設立趣旨説明があった。

②中長期計画について
県士会養成校教員組織学生組織
H29 第1回連絡協議会
H30 アンケート(12月)
第2回養成校連絡協議会(4月下旬、交流会)
第3回養成校連絡協議会(時期未定、会員管理)
＊学生組織立ち上げについては4月下旬を予定

2)学生組織立ち上げまでのプロセス

①担当理事(李)が組織立ち上げ趣旨説明文を作成し、各養成校担当教員へ配信

②養成校担当教員は学校側へ報告、同意を得る。

③養成校担当教員が学生に説明、代表者選出(養成校・学年毎に1名)

④事務局長を中心に学生会員の扱いと待遇を、教育部柴田理事を中心に学生会員研修会参加範囲、学生向けプログラムなどを取りまとめる。

⑤4月22日～30日の間に学生組織と県士会との交流会を開催

3)学生アンケート実施に向けて

①臨床実習に関する厚労省・文科省アンケート結果を踏まえ、アンケート実施となった。

②担当理事(李)が9月頃にアンケートのたたき台を作成し、協議会メンバーへ配信

③養成校ごとに12月中に実施、担当理事(李)がデーター解析

④県士会員へ結果公表、何らかの課題が明らかになった場合は対策を検討

4)その他

厚生労働省PT・OT養成施設カリキュラム等検討
情報収集しながら、県士会レベルでの必要な対策を検討していく。

【連絡事項】

4月中旬に学生組織との交流会開催予定
学生組織との交流会の開催日について
日時:4 月22 日(日)14:45～、1 時間
場所:高崎市総合福祉センター
理由:新人症例発表会と同日に開催することで参加理事の負担が軽減できる。
会場使用については教育部と調整済み

11.災害対応委員会[関根副会長]

【報告事項】

1)平成30年1月19日　第1回JRAT群馬代表者会議に出席
今後の活動内容について協議
次回は4月を予定。今後は会則作成、各団体との協定締結を進めていく

2)平成30年2月3日　大規模災害訓練の実施
連絡網システム(マメール)を利用して実施
会員登録の時点での問題が明らかとなったため、マメールは使わない方向となった

12.その他[新井会長より]

1)保険部の存続の可否

2)事務局調査部の新設の可否

3)地域作業療法推進部の局化について過去の議題の確認があった。
第2回理事会議事録にて確認済み。
上記3点については、議事録を再送付し、メール審議することとなった。

13.次回理事会について

平成29年度　第5回　理事会
日時:平成30年3月28日
会場:未定

群馬県作業療法士会

部署紹介

財務部

執筆者▶加藤卓也

部署紹介

　財務部は、各部で決算して頂いた会計の確認や県士会のお金の流れの管理をしています。現在の部員は7名で、主な活動場所は県作業療法士会の事務所となっています。裏方の仕事ですが、ミスが許されない重要な仕事でもあります。皆様から預かった大切なお金の管理をさせて頂きます。

平成29年度活動報告

主に年に2度(前期、後期)の決算に集まっています。また、月々の支払いや会費についても対応しています。

平成30年度の抱負

皆さんに間違いがないように報告できるようにしていきたいです。

県士会員へ向けてのメッセージ

　年会費の支払い方法は日本作業療法士協会と県作業療法士会で異なっており、お手数をおかけいたしますが、各自宜しくお願いします。

教育部

執筆者▶今村雄二

部署紹介

現在、部員数62名、西毛、北中毛、東毛に分かれ活動中。
研修企画グループと生涯教育システムグループに分かれています。
研修企画グループは、協会の現職者研修等を企画運営するグループです。
生涯教育システムグループは各研修名簿管理やポイントシールの管理を主に行っているグループです。

平成29年度活動報告

現職者共通研修を8テーマ、現職者選択研修（今年は発達分野）その他基礎研修を行っています。基礎研修に関しては、アンケートを取り、会員の受けたい講義をできるだけ企画するようにしています。各研修、部員の有志方々の協力で実りの多い研修ができているのではないかと、手前味噌ですが思っています。

平成30年度の抱負

来年度以降、研修の企画や運営方法も変わりますので、皆様にご案内しながら進めてまいります。研修に参加される方々も増えている傾向がありますので、引き続き受けたい、受けてみたいと思える研修企画運営と管理をしていければと思います。

県士会員へ向けてのメッセージ

教育部は、研修企画にあたり、部員数が多いだけに多くの病院、施設のOTと出会うことが出来ます。また、講師になるような先生と関わらせてもらう中で、通常の仕事の中ではお会いすることのない分野の方々の出会いは、引いては自分の仕事やOTとしての考え方に刺激になるな～と14年所属して一番メリットして感じるところです。
作業療法士として後輩の方々の応援と、現役の方の力になれる様ぜひお力添えいただきたいと思います。

事務局

執筆者▶事務局長 長谷川明洋

部署紹介

【主な活動内容】

①会員管理全般
②名簿の作成・管理・発行
③県士会ホームページ管理・運営
④総会の運営
⑤理事会議事録の作成
⑥公文書等の発行・文書管理・各種書類の発送
⑦ブロック支部組織強化事業
⑧新規事業の立ち上げ準備等
⑨メール問い合わせの対応
⑩地域包括支援事業に関する問い合わせ、OT派遣要請の連絡対応
などなど、多岐にわたります。

【部員数】なんと6人。

平成29年度活動報告

＊2017年10月から、県士会HPのリニューアル
＊第2回主任者会議の開催を行いました。
＊会員実態調査アンケートを行いました。
＊県士会ニュースに議事録を掲載しました。
＊養成校連絡協議会が立ち上がりました。
＊運転と作業療法WGが立ち上がりました。
＊研修会情報は定期的に更新しております。

平成30年度の抱負

First things first! 大事なことは最初にやってしまえ。
(抱負というよりも、事務局の方針)
平成30年度は、OT協会の会員管理システムと県士会の会員管理の統合的な作業を行う重要な年となります。
ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

県士会員へ向けてのメッセージ

現在、事務局部員募集中でございます。
ご連絡先:群馬県作業療法士会　事務局　長谷川明洋
e-mail:a-hase@gunma-u.ac.jp

【研修会等のご担当者へ】
研修会等のお知らせはぜひ事務局までご連絡ください!

【新人・若手の皆様へ】
1年間お疲れ様でした。この1年で大きく飛躍されたことと存じます。
その勢いと力を、ぜひ県士会にお貸しください。
県士会にはいろいろな部局があるので、興味を持ってもらえると嬉しいです。
事務局に興味を持ってもらえたらもっと嬉しいです。
事務局に入ってもらえたら、会長がご馳走いたします。たぶん。

【中堅の皆様へ】
大変な1年だったかもしれません。理不尽なことも多くあったのではないでしょうか。
事務局も、大変な1年でした。お互い大変なもの同士、支えあっていきたいものです。傷の舐め合いが必要なら、お付き合いします。一緒に事務局の仕事、どうでしょう。

【管理職の皆様へ】
日々お疲れ様でございます。苦労の絶えない毎日で、色々とお察しいたします。皆様がされてこられた県士会への暖かなご支援と、数々の貢献に敬意を表します。
そこで、折り入ってお願いがございます。
ぜひ、所属しているOTに、事務局へのお手伝いをお願いできるようにお手配できませんでしょうか?

〈適性〉　○元気：なくても大丈夫です。
○年齢・性別・経験年数：不問
○特別な技能：不問。ワードができれば良し。エクセルができればなお良し。
○人柄：文句があっても大声で言わない人。

〈内容〉：雑務全般。
地味で目立たないことばかりですが、難しくはなくやれば終わる仕事です。
色々な仕事があるので、その方の環境に合わせて、ちょっとだけやる、かなりやる。死ぬほどやる。
など選ぶことができます。いかがでしょうか？
思い当たる方がいらっしゃいましたら・・・ぜひご連絡いただきたいです。
その上司としての最大限の力をもってすれば、なんとかなるのではないでしょうか。
注）事務局の人員募集はパワハラ・アカハラを推進するものではありません

(1)　Jimukyoku times　2018年3月

事務局の人員不足深刻

速報

来年度体制に赤信号？

部員増員がカギ

一般社団法人群馬県作業療法士会事務局では平成三十年度の予算編成に追われている。事務局事業は県士会運営の要であり、取り扱う予算額も他の部署よりも大きい。昨年度から自動車運転のワーキンググループが発足するなど、活動範囲も大きくなっている。また、日本作業療法士協会の会員管理システムの変更に伴い、県士会の会員管理も影響を受け、来年度は大幅な会員管理の改定作業が予定されている。そうした中で、事務局の恒常的な人員不足が深刻化している。予算確保とともに、早急な人員補充が必要だ。長谷川事務局長は、やる気がなくてもよいから、まず問い合わせをしてもらいたいと意気込みを語る。

土写真）今後の課題は新たな部員確保ができるのかどうか、対応が注目される。

現在部員はわずか六名

現在の事務局の部員はわずか六名である。事務局の仕事は会員管理業務から、ホームページの管理運営、総会の運営、書類の作成発送など多岐にわたる。六名体制ではすでに限界だ。今後事務局では文書管理部門、ホームページ管理部門、会員管理部門の部署を立ち上げ、組織力の強化を図っていく予定だ。

新井会長も危惧

事務局の人員不足については、群馬県作業療法士会の会長の新井健五氏（不写真）も危機感を募らせている。県士会が発展していくためには事務局の機能強化を図ることが必要だと強調する。社会情勢が大きく変化する中で、現状の事務局では厳しいと危惧している。

お問い合わせ

ご連絡先　群馬県作業療法士会　事務局　長谷川明洋宛 e-mail：ar-hase@gunma-u.ac.jp

地域作業療法推進部

執筆者▶土屋謙仕

部署紹介

地域作業療法推進部は、群馬県内の作業療法士が地域に根差した貢献ができるように市町村と連携しながら、体制整備や支援を行っています。

現在の部員は30名（事業局長1名、理事3名）で地域包括ケア推進グループ、認知症支援推進グループ、発達支援推進グループ、精神科領域推進グループに分かれて活動しています。

平成29年度活動報告

◎地域包括ケア推進グループ

1.県内各市町村との連携体制構築
2.地域包括ケアシステムに資する人材の育成として、介護予防に資する人材育成の研修会の実施、人材登録と行政からの依頼に応じた人材の紹介
3.群馬県理学療法士協会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会との連携事業　など

◎認知症支援推進グループ

1. 認知症ケア資質向上のための人材育成研修として、認知症初期集中支援研修会、認知症ケア資質向上のための研修会（ベーシック・アドバンス）を実施
2. 家族会との連携強化、当事者・家族への支援　など

◎発達支援推進グループ

1. 地域小中学校および幼稚園保育園への作業療法士派遣
2. 保健センターなどの保健分野への作業療法士紹介
3. 講師依頼への対応（講師養成研修の開催の検討と実施）　など

◎精神科領域推進グループ

1. 地域移行・地域定着等に対応できる作業療法士の人材育成
2. 群馬県地域自殺対策強化事業に伴う研修会の実施　など

平成30年度の抱負

上記報告で挙がった、地域の組織との連携、地域の中で活躍できる人材育成等を継続しつつ、地域からの新たな要望へ対応していく予定です。特に、発達支援推進グループでは、発達領域における就労支援や、学童クラブとの連携について検討を進めており、職域を拡げる取り組みに期待が持たれます。また、平成30年度から本格始動する精神科領域推進グループでは、現在グループへの協力者を募集しており、今後、精神保健医療福祉関連事業への対応や、支援者の対応力を高める取り組みを進める予定です。

県士会員へ向けてのメッセージ

一緒に群馬県の地域作業療法を発展させるために活動をしませんか？　地域作業療法推進部は、群馬県内の作業療法士が自分たちの住む身近な地域に貢献できるよう、日々やりがいを感じながら頑張っています。しかし、前述の通りOTに対する地域の期待は年々高まり、より多くの方の協力が必要な状況です。地域の作業療法に興味のある方は是非、部長土屋（tkenji@gunma-u.ac.jp）へご連絡下さい！また、アンケートや研修会への参加・運営など、今後とも会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

広報部

執筆者▶土岐新太

部署紹介

広報部はOTの広報、啓発公益事業グループ、ニュース編集グループ、広報企画グループの3つのグループで活動しています。主な活動内容としては、公益事業グループは、OTに興味のある高校生を対象に県内の病院・施設の見学を行う高校生OT体験、イオン高崎などショッピングモールでアクティビティ体験等を実施しつつOTの紹介を行うOTフェスタや県内で行われているイベントに体験コーナー等のブースを出展し、一般市民向けにOTの広報活動を行っています。ニュース編集グループでは、年に4回県士会員向けに研修会情報や施設紹介、トピックス等を掲載したニュースレター「からっ風通信」を発行、広報企画グループではイベントでのOT認知度アンケート調査や各イベントの企画等を行っています。現在30名程度の部員数で活動しています。

平成29年度活動報告

H29.7.24(月)～8.5(土)にかけて県内の高校生対象に高校生OT体験を実施。高校生51名の参加があり、県内23施設で実際のOT場面の見学を行いました。
H29.10.29(日)元気プラザ21で開催された「健康フェスタinまえばし2017」、H29.9.2(土)「こころのふれあいバザー展」にOT体験ブースを出展しました。
H30.1.7(日)イオンモール高崎(イオンホール)にて「OTフェスタ2018」を実施。体験コーナーやリーフレット、グッズ配布を行いました。

平成30年度の抱負

引き続き、高校生対象のOT体験事業や各イベントへの参加、OTフェスタのイベント開催を通して、OTについての広報、啓発活動を実施、また県士会ニュースの発行と内容のさらなる充実や、OTについての認知度向上に向けた取り組みの企画等を実施していきます。

県士会員へ向けてのメッセージ

広報部は、県内様々の病院、施設から部員が集い、和気あいあいと活動しています。イベントの企画、開催等で楽しみながら活動したいという方、様々な施設のスタッフの方との交流を持ちたい方、イラストやPCが得意な方、単純に興味がある方等、どなたでも大丈夫です。一緒に活動していただける部員の方を募集しています。是非、情報交換しながら、楽しみながら、一緒にOTの広報活動をしていきましょう。

学術部

執筆者▶牛込祐樹

部署紹介

医療の専門職である作業療法士において、臨床・教育・研究の持続的な発展は重要です。学術部は、①学会支援グループ、②機関誌編集グループ、③学術研究グループの3つのグループで活動しています。
群馬県内の作業療法に関する学術研究の推進と質の向上を目的として、群馬県作業療法学会における企画運営の支援および学術機関誌の編集・発行、学術研究の学会発表や論文作成の支援を行っています。

平成29年度活動報告

①学会支援グループ（グループ長：野口直人OTR、グループ員：3名）

学会支援グループは、各ブロックの実行委員会と連携し、学会の企画運営を行っています。実行委員会による運営が円滑に進むように、学会支援グループの役割である過去の学会の情報・データの提供と、企画運営のサポート、運営スケジュール調整、事務局との連絡調整などを実施します。

平成29年度は、東毛ブロックの実行委員会とともに第20回群馬県作業療法学会を開催し、多くの参加者が集まり、盛況な学会となりました。

②機関紙編集グループ（グループ長：糸井陽祐OTR、グループ員：7名）

機関誌編集グループは、群馬県作業療法士会の学術機関誌である「ぐんま作業療法研究」の編集・発行を実施しています。主な業務として、群馬県士会員による研究論文の投稿募集、投稿論文の査読依頼と調整、原稿の校正と印刷などを行います。

平成29年度で機関誌は、Vol.20を数えるまでになりました。7編の論文掲載に併せて、新井健五会長、関根圭介副会長、山口智晴副会長を招いて「群馬県作業療法士会 設立30周年とこれから」をテーマに誌上座談会を開催しました。

③学術研究グループ（グループ長：近藤健OTR、グループ員：2名、査読員：17名）

学術研究グループは、学術研究の質向上のため、学会発表を検討している県士会員を対象に勉強会の開催、研究の相談助言を行います。また、県学会における演題と機関誌の投稿論文について査読を行い、学術研究の質を高めるために寄与しています。

平成29年度は、学術研究に関する勉強会を開催し、学会発表支援を行いました。また、第20回 群馬県作業療法学会の発表演題と機関誌「ぐんま作業療法研究 Vol.20」の投稿論文について査読を実施しました。

平成30年度の抱負

平成30年度は、学術部の3グループが目標を共有し連携することで、学術研究の推進と質の向上を推進するとともに、業務整理をすすめ効率的な運営を行います。

特に、学会支援グループでは、各ブロックの実行委員会が本来の役割である県学会の構想（テーマ、講師の選定等）を中心に活動できるように学会支援グループが年間スケジュール管理、財務や公文書管理など事務局機能に積極的に関与し、支援を行います。また、機関誌と学会誌を統合し、質の向上を図るとともに、学術研究グループの支援が得られやすい体制を取り、学会発表が行いやすい環境を整えていきます。

県士会員へ向けてのメッセージ

学術部では、平成30年度より群馬県内の学術活動を活発にしていくために新しい試みをスタートさせます。その実現のために、一緒に活動してくれる部員を募集しています。

学会運営や機関紙編集、学術研究支援に携わることは、作業療法士として成長するための多くの経験と人脈形成につながり、新しい視界が広がると感じています。学術研究に興味のある方はもちろん、自身の作業療法の在り方に悩んでいる方や臨床経験が浅くて迷っている方なども大歓迎です。参加を希望する方は、下記の連絡先までご連絡ください。是非、一緒に活動しましょう!

（連絡先）学術部　部長　牛込祐樹
群馬医療福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法専攻
TEL：027-210-1294　FAX：027-260-1294
MAIL：ushigome@shoken-gakuen.ac.jp

▲第20回群馬県作業療法学会の様子

福利厚生部

執筆者▶設楽俊史

部署紹介

現在、部員は7名と少数です。適宜、部会を開催し、群馬県士会員の福利厚生面での支援を行えるようにしています。活動内容は、各種の表彰関係、福利厚生面での研修の企画運営が中心とし、その他、群馬県士会員の福利厚生に対する企画運営を行っています。

▲リレーフォーライフへの参加

平成29年度活動報告

4月　新人症例発表会での新人優秀演題賞の授与
10月　リレーフォーライフへの参加（参加数：35名程度）
12月　群馬県作業療法学会での優秀演題賞の授与
3月　各養成校への学生優秀賞の授与

▲群馬県作業療法学会での表彰式

平成30年度の抱負

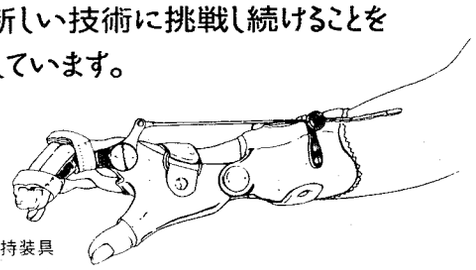
H30年度も各種表彰、福利厚生面での研修会を行い、各会員の福利厚生面での支援やリレーフォーライフのチャリティーイベントへの参加を通じ、病院の枠を越えた各会員の顔が見える関係作りなども行っていきます。また、ママ会員に向けた関わりも検討しています。

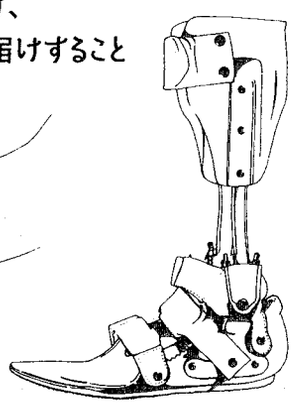
県士会員へ向けてのメッセージ

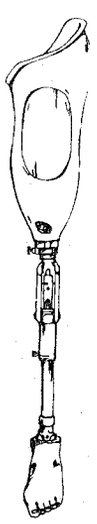
企画を通じて、群馬県内の作業療法士が連携しやすい環境を目指していきます。群馬県作業療法を福利厚生面から盛り上げていきます。ぜひ、県士会で部会に参加して、県士会に入りたくなるような企画運営に協力していただけたら幸いです。
皆様もぜひ、部会に参加してください。

精緻さを力へ。乗り越える、支える力へ。

わたしたちは、常に現場の声に耳を傾け、
患者さんひとりひとりに合った製品をお届けすること
そして、新しい技術に挑戦し続けることを
使命としています。


■把持装具


■プラスチック短下肢装具

■座骨収納型骨格式大腿義足


(社)日本義肢協会会員
ISPO会員
日本義肢装具学会会員
バイオメカニズム学会会員
先端医療技術研究会会員
技術研究組合医療福祉機器研究所組合員

取扱い／義肢・装具全般、補助具、車いす

お問い合わせは
株式会社 高崎義肢
〒370　群馬県高崎市井野町1235
☎0273(61)2074(代)　FAX 0273(62)6170
振替・長野5-14820

学術活動支援勉強会のおしらせ

新年度が始まり，新人OTを迎える施設も多いと思います。また、今まで新人だった方は、これから先輩OTとして新たにスタートする方も多いと思われます。新人指導、後輩指導にはOTとしての技術、知識、魅力をうまく伝えていくことが必要と思われます。先輩OTとして後輩に良い手本になるためには、自分自身の技術、知識、魅力を磨くことが大切と思います。そこで、学術研究グループでは、どのように知識を得るか、どのように自分の考えを表現するか、そして、それを対象者、同僚、多職種、後輩、地域、（夢は世界に…）に還元するプロセスの支援、勉強会を行っています。去年は全国学会・県学会ポスター支援6名、OT学会（名古屋）への抄録登録への支援を3名の会員に行いました。今年度も勉強会を開催します。半年の月１回コースです。スケジュールを見て興味を持った方はぜひ連絡してください。

【スケジュール】

7～2月：月１回の勉強会（全日程の参加を原則とし、日時は参加者決定後に調整）

会場：群馬大学　時間19：30~21：00

（翌年）7～8月：学会発表前の原稿作成

		OT学会	一般的応募スケジュール	当勉強会
2018	7・8月		テーマの検討	アイデアの具体化
	9月			「文献検索」解説
	10・11月		発表内容の検討	データ収集
	12月			「統計ソフト(SPSS)使用」解説
2019	1月	演題応募	演題原稿作成・応募	「演題登録原稿作成」解説
	2月	演題応募		〃
	5月	結果通知		
	7・8月		発表原稿作成	発表原稿作成
	9月	学会発表		

【担当者】

学術部研究グループ　近藤健（公立藤岡総合病院），李範爽（群馬大学）

連絡先：n-reha@fujioka-hosp.or.jp

作業療法フェスタ2018を終えて

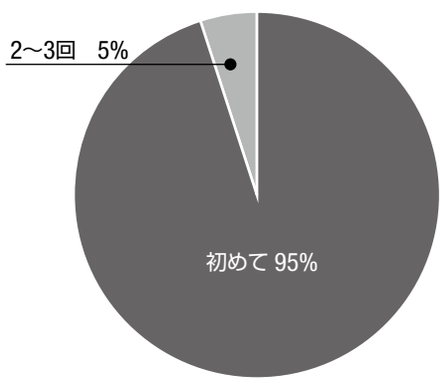
日高病院　リハビリテーションセンター　回復期リハビリ室　中澤浩幸

今年度も高崎イオンにて作業療法フェスタを実施致しました。作業療法フェスタは地域の方に実際に作業活動を提供し、少しでも作業療法の事を知ってもらい、「作業療法」という言葉だけでも覚えて頂けるように取り組んでいます。また今年度は参加する多くのスタッフが参加してよかったと思えるよう企画を進めていきました。

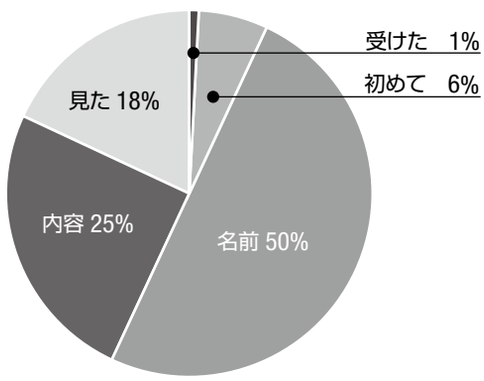
今年度は昨年度も行い、人気であったブレスレット作りブース、割り箸鉄砲作りブース、体力測定ブース、ぐんまちゃんに加え、片麻痺体験ブース、スタンプラリーを新たに導入し実施致しました。例年通りぐんまちゃんの効果は絶大でしたが、今年度はスタンプラリーを導入したことで各ブース大盛況でした。毎年作業療法フェスタに参加していますが、今年度は来場者、スタッフ共に笑顔が多く見られたように感じました。

今回は、作業療法認知度アンケート、作業療法フェスタに参加したスタッフへのアンケートを掲載させて頂きます。少しでもこの活動を多くの方に知って頂けるよう、少しでも群馬、そして全国の作業療法が盛り上がるよう今後も継続していきます。来年度も実施していきますので、今後ともよろしくお願い致します。広報部員以外の方の参加、遊びに来るだけでもお待ちしております！

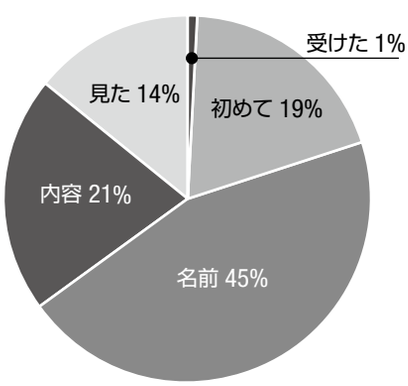
作業療法認知度アンケート



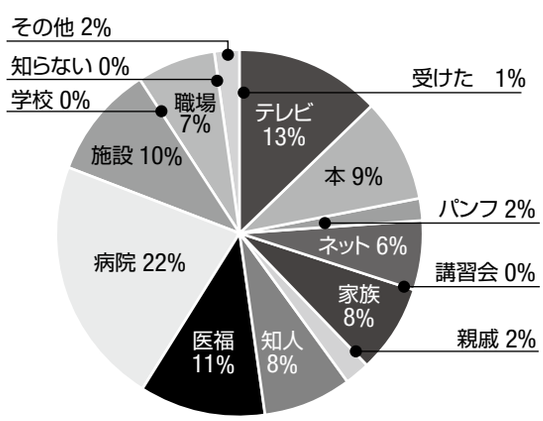
何回目のご来場ですか?



リハビリテーションという言葉をどの程度知っていますか?

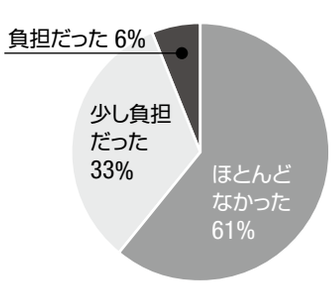


作業療法という職業をどの程度知っていますか?

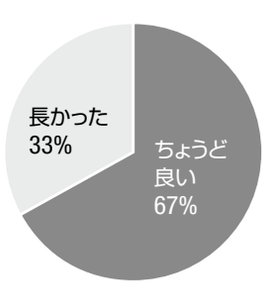


作業療法を知った方法を教えてください

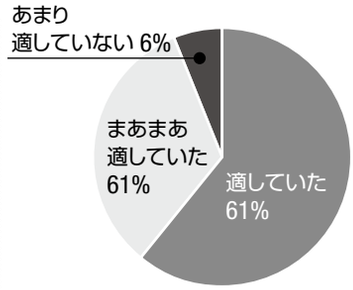
参加スタッフアンケート



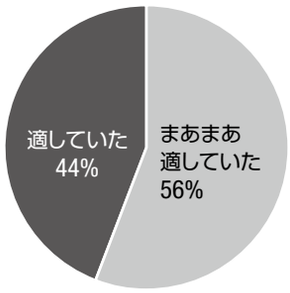
準備に要する負担はどの程度でしたか。



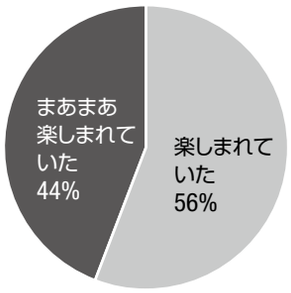
イベントの実施時間（8～17時）はいかがでしたか。



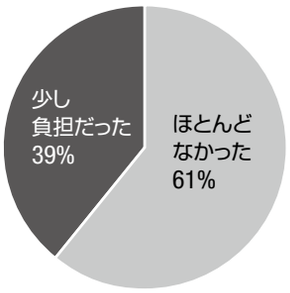
利用した施設（イオンモール高崎）は作業療法の広報に適していましたか。



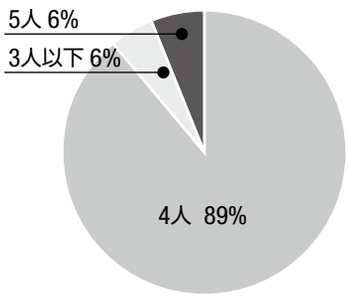
会場（イオンホール）は作業療法の広報に適していましたか。



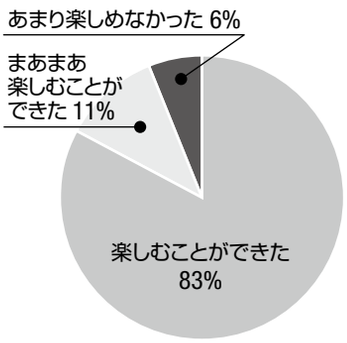
来場された方は楽しまれていましたか。



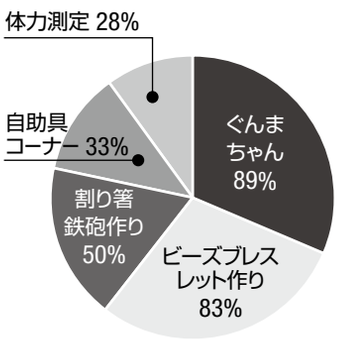
当日運営業務の負担感はいかがでしたか。



1ブースの担当は何人程度が好ましいと感じますか。



あなたはフェスタを楽しむことができましたか



どのブースが人気と感じましたか。

教育部からのお知らせ

新人症例発表会があります！

日　時　平成30年4月22日（日）　**会　場**　高崎市総合福祉センター

県士会ホームページから抄録をダウンロードできます。

抄録ダウンロードパスワード

password：got2018

＊当日、参加者には冊子が配られます！

高崎市総合福祉センター
群馬県高崎市末広町115-1
TEL：027-370-8822

高崎市総合福祉センターの最寄り駅は
JR「北高崎」「高崎問屋町」「高崎」
所要時間（徒歩換算80m／分）
北高崎駅徒歩約13分車約5分
高崎問屋町駅徒歩約20分車約7分
高崎駅徒歩約23分車約10分
市内循環バスぐるりん

施設紹介

社会福祉法人　明清会

【明清会について】

当法人はH10年に認可を受けて、「自由」「活動」「責任」「リカバリー」を理念とし、様々な障害をお持ちの方のニーズに合わせて、地域生活を支援しています。伊勢崎、前橋地域にグループホーム9ヶ所、地域活動支援センターⅠ型・Ⅲ型、相談支援事業所、就労継続支援B型、就労移行支援、就業・生活支援センター、生活困窮者の就労準備支援事業などを展開しています。作業療法士は法人内に4名所属しており、生活支援員、指導員、サービス管理責任者として作業療法を活かし働いています。以下、作業療法士が所属している部署をご紹介します。

【共同生活援助事業 波志江の杜】

グループホームが9ヶ所あり、60名の方が生活をしています。20代～70代の方が、『一人暮らしが目標』『自由な生活がしたい』『仲間と安心して暮らしたい』など、それぞれの希望を持ち、それぞれの人生の経験を活かして共同生活をしています。地域の生活の中には、『初詣は近所の神社に行きたい』『温泉旅行が楽しみ』『私の手料理を食べてほしい』など、その方の大切な意味ある作業が溢れています。

【伊勢崎地域活動支援センター】

地域活動支援センターⅠ型は通所している方の活動を支援しています。利用者さんは「生活リズムをつけたい」「日中の居場所が欲しい」「仕事に復帰するまでの準備がしたい」といったご希望をもって来所しています。訪問や生活相談、料理、アート、手芸など創作のほか、SSTや、ピア活動をしています。活動を通して人と出会い、悩み相談をしあったり、利用者さん同士で支えあっています。

【就労継続支援B型・就労移行支援事業所　ガーデンタイム】

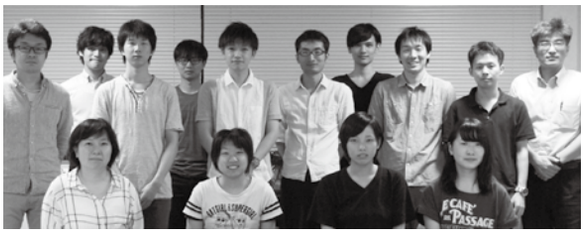
ガーデンタイムは、前橋市荒子町にある就労支援事業所です。通う方は、カフェ・ベーカリー・農業・受託事業の仕事、また一般の企業への就職へ向けた活動等を通じ、それぞれの夢の実現を目指しています。『仕事を始めたら家族に認められた気がします』『仕事が安定したら彼女と結婚しようと考えてます！』など、メンバーの熱い声もあります。

平成30年度の報酬改定でも、作業療法士の力が地域の就労支援にも役立つことが認められる内容となりました。興味のある方は、まずはお食事にいらして、皆さんの働く姿を見に来てください！

最後に、35年以上長期入院して今はグループホームで暮らしながら、パン製造の仕事をしている方の言葉を紹介します。『人生、死ぬまで青春！』

利用者さまによるスタッフの似顔絵

大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。現在県内外の作業療法士が仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、当研究室で大学院を目指してみてはいかがでしょうか。
毎週の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。

群馬大学大学院　保健学研究科
教授　李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

仕事以外の時間も大切に過ごしたい方

私たちと一緒に働きませんか？

PT・OT募集 ❶訪問看護ステーション所属のリハビリ業務 ❷デイサービス所属のリハビリ業務

決められた時間内に効率よく働き、家族と過ごす時間や自分のための時間を大切にしたい人が働きやすい環境が整っています！

勤務地
❶前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア または 桐生・みどり・太田・足利・大泉エリア
❷桐生市 または 前橋市

勤務形態／勤務時間
- 正社員／8:30～17:30 ※8:00～18:00の間で調整可
- 準社員／8:30～17:30のうち4.5時間以上 小学校卒業までの子を持つ親または同居家族の介護を行っている場合
- パート／8:30～17:30のうち3時間以上

給与
基本給＋資格手当＋実績手当
260,000円～
（準社員・パートは勤務時間により変動）
経験考慮いたします

待遇・福利厚生
- 各種保険加入（健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険）
- 退職金制度あり　■賞与年3回（昨年度実績）
- 保育士常駐の無料社内託児室
- 訪問所属は直行直帰制度あり
- フィットネスジム割引　■旅行手当　など

休日・休暇
- 年間120日以上
- 土・日・祝日（12/23、成人の日は除く）
- 夏季休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護楽しんで休暇 パパ産休など独自の特別有給休暇
- 年次有給休暇取得率75%（平成27年度実績）

研修・キャリアアップ支援制度
- 入社後半年間のプリセプター制度
- ビジネスマナー研修、メンタルヘルス勉強会、社長勉強会など勤務時間内の様々な勉強会
- 症例発表、職種別勉強会など専門分野の研修
- 外部研修参加費、交通費、宿泊費の補助（回数制限なし）
- 資格手当上乗せ：対象資格は2017年度現在80種類以上
- 試験対策勉強会など、新たな資格取得をサポート ケアマネ、介護福祉士、社会福祉士など毎年合格者がでています！

ココロの特徴
★「お互い様」の風土が根付き、急病など突然のお休みへのフォロー体制が整っています。
★決められた時間内で効率よく働くことを重視。1ヶ月あたりの平均残業時間は1時間未満です。
★有休を積極的に取得し、たくさん遊びに行くことを推奨しています。

研修や子育て支援が充実しているため、ブランクのある方や経験年数の短い方も安心して働けます！1人ずつにプリセプターがつき、訪問では始めのうちは先輩スタッフが同行するので、初めて訪問業務を行う方もご安心ください。

お問い合せ先
Coco-Lo（ココロ）　☎0277-55-5422 担当：しかぎ
受付時間／8:30～17:30（土・日・祝休）
群馬県桐生市相生町2丁目261-3
http://coco-lo.net/
働き方改革への先進的な取り組みで国や県からの受賞実績多数。ぜひ一度弊社ホームページをご覧ください！

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した･･･などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス：dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス
www.gunma-ot.com

編集後記

いよいよ今月より新年度が開始となります。今年度よりからっ風通信は、4・7・10・1月の発行となります。今年度一発目では、県士会の各部署紹介を中心に構成し、たくさんの方にご協力を頂きました。この場を借りて、お礼を申し上げます。

先日、教育部主催の研修会に参加させて頂き、土屋謙仕先生による講義を拝聴させて頂きました。勉強になったと共に、原点に帰るような思いになり、貴重な時間を過ごさせて頂きました。

広報部も、教育部の方々に負けないよう、ニュースをはじめ、更なる発展を目指していきます。

県士会員の皆さま、今年度もよろしくお願い致します。

S

群馬県作業療法士会ニュース
発 行 者‖新井　健五
発 行 所‖群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL・FAX 027-224-4649
編集代表‖反町 拓海　編集委員‖中村 真美、関　仁紀、下田　幸、吉澤 一郎　印刷‖星野印刷株式会社